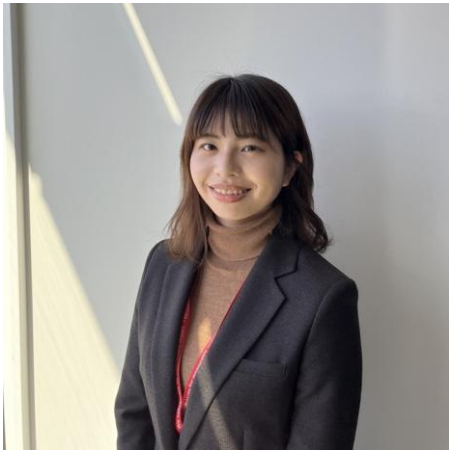


自分が最もわくわくする瞬間は何か？の自問自答と、 自分の積み重ねてきた経験や努力の数々を信じることさえ 続けていけば、おのずと自分の進むべき道が開けてくる

合同会社デロイト トーマツ／コンサルティング
コンサルタント
新卒入社／国内大学院／医学院／社風
H.S

※役職・内容はインタビュー当時のものになります。



Q.学生時に何をしていましたか？

A. がんの細胞治療法開発に熱中していました。私は研究者の祖父の元で育ち、祖父の“生き生きと仕事を語る”姿に憧れて研究者の道を志しました。祖父の命を瞬く間に奪ってしまった“がん”に苦しむ人を無くしたい、という思いで研究に挑戦していました。

私の研究に使う手技は研究室内の誰もが未経験のものばかりで、自身で海外文献を読み漁り著者に片っ端から連絡したり、動画を検索して見様見真似で腱鞘炎になるほど練習したり、病院の先生方にひたすら頭を下げて教えるを乞うたり、どうにか成功の兆しを掴もうと、寝る間も惜しみながら研究を続けました。

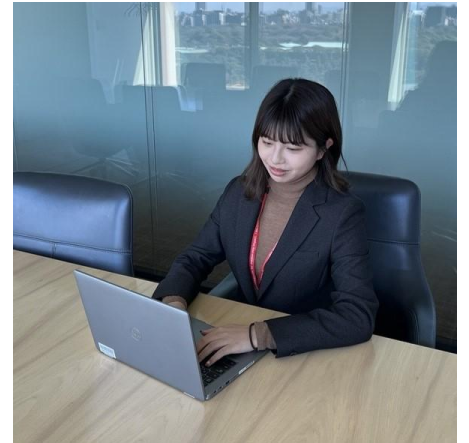
誰に何を言われ、結果が中々出ずとも、決して諦めずしがみついた経験は私自身を強くしたと感じています。

Q.なぜDTC？

A. 理由は2つありました。1つ目は、自身の性格や思考を面接の中で汲み取り、その良さを評価してくださったことです。就活における典型的な質問形式ではなく、肩の力を抜いて話せる会話形式で面接を進めてくださり、私らしさを

引き出そうとしてくださった点、そして私自身の“個性”を評価してくださり、多様な“個”を受け入れる文化が会社に備わっていると感じました。

2つ目は、自身が参加したインターンシップにおいて、ケースマネジャーのお人柄に惹かれたことでした。短いタッチポイントの中でもそれぞれの長所短所を見出し、丁寧にフィードバックを与えてくださる姿を見て、強い憧れを抱きました。



Q.入社してからのGAPは？

A. 自身の部署についてしか言及できませんが、想像以上に、面倒見の良いメンバーが多いことです。

勝手に人間関係がドライなイメージを抱いていましたが、質問や悩みなど相談事があって連絡すると、忙しい中でも非常に親身になって対応して下さいますし、業務外で食事やイベントにお誘いすると喜んで来てくださる方が多いです。

普通の会社と違い、会社に部署ごとに決まった座席があって毎日顔を合わせることはないのですが、自ら積極的に働きかけ、多様な交流を持つことができる環境だと思います！



Q.学生の皆さんへメッセージをいただけますか？

A. 就職活動をしていると、色々な情報に振り回されてしまい、自分を見失ってしまったり、何がしたいのか、どこに進むべきかが分からなくなってしまうことがあると思います。私もそれに大きく悩まされましたし、社会人になった今もなお、日々悩み続けています。大切なのは、①参考にする情報を取捨選択すること、②毎日自問自答を続けること、③他の誰でもなく自分自身を信じること、この3点だと思います。自分が最もわくわくする瞬間は何か？

この自問自答を続けていくこと、自分のこれまで積み重ねてきた経験や努力の数々を信じること、それさえ続けていれば、おのずと自分の進むべき道が開けてくるはずです。

どんな悩みも必ず糧になります。頑張ってください！